

居宅支援事業所より



焼き芋会



生活介護事業所まいせるふでは、平成29年10月にさつまいもの収穫、11月に焼き芋会を行いました。

畑を現在の場所に移して2回目の秋。前年も十分な収穫がありましたが、今回はさつまいもに枝豆、とうもろこしなど種類を増やし、みんなで秋の味覚を堪能しました。

普段であればまだ太陽の暖かさを感じながら外での焼き芋ができる季節だと思うのですが、11月にして、早くも雪が積もってしまいました・・・。

雪が降る中でしたが、男性陣が奮闘して炭を起こし無事に焼き芋が焼きあがりました！



遠赤外線ですっきりと焼かれたさつまいもは、透き通るような黄金色で、頬張ると優しい甘さが口いっぱいに広がります。これには利用者の皆さんもこの表情。

雪が解ける5月まで畑作業はお休みです。

餅つき大会

平成30年1月、3回目となる『まいせるふ餅つき大会』が行われました。これまでは体育館で行っていたものを、今回は2号館食堂ホールへ変更しましたが、環境が変わると参加が難しい利用者の方もスムーズに参加でき、全員参加の形がとれたことはとても良かったと思っています。

最近ではあまり見かけなくなった杵と臼を使っての本格的な餅つきは、日本の伝統ともいえるものであり、コシと粘りが十分なおいしいお餅に仕上がります。また、「ヨイショ！」の掛け声も唱和して、大変な盛り上がりの中で開催することができました。

お餅の味付けは磯辺（海苔しょうゆ）・あべかわ（きなこ）・お汁粉の3種類を用意しました。あまりの美味しさに次々とお替りの列ができ職員も大忙しでした。

大賑わいのうちに無事終了した餅つき大会ですが、イベントには”リスク”が付き物です。しかし、それらにとらわれてしまうと何もできなくなってしまいます。これからはリスクはあるけれど、「どうしたら安全に楽しくできるのか」を考え、細心の注意を払いながら楽しいイベントを増やしていきたいと考えています。

皆さんも、『まいせるふ』の行事を覗きに来ませんか？

（生活支援員 夏目 文）



編集後記

今年度は、季節の変わり目がはっきりしない年でした。

せめて行事で季節感を感じてもらえればといつも考えながら組んでいます。中々難しいですが・・・。

今回の記事をきっかけに、まいせるふの活動の様子に興味を持ってもらえればうれしいです。

今年度最後の新聞『岩木山』となりました。また、来年度お会いしましょう！（生活支援員 夏目 文）

新聞

岩木山

発行者 拓光園グループ

総合施設長 木村 めぐみ

弘前市大字百沢字東岩木山2628

電話 0172-96-2331

編集 拓光園新聞係

拓光園祭



アクティブチームの皆さんによる星野源さん『恋』



利用者、職員の催し物『大きなかぶ』

平成29年11月25日（土）、拓光園本館と体育館を会場に、「第35回拓光園祭」が行われました。この日は朝から雪がちらつくあいにくの天気ではありましたが、来賓・ご家族・ボランティアの方々をはじめ、たくさんの方々にお越しいただきました。

まずは体育館での発表ですが、ご家族による歌謡や踊り、次に新任職員が一生懸命考えた寸劇『大きなかぶ』が利用者の方も交えて披露されました。さらに今年度からスタートしたアクティブチーム（利用者さんの活動班です）の精鋭11名が、星野源さんの『恋』をBGMに情熱的な（！？）ダンスを発表し、生き生きとした笑顔で舞い踊るさまに大きな拍手が湧き上がりました。大取りをつとめたのはりんご娘の妹ユニット『ライスボール』による“ライスボールショー”で、誰もが一度は耳にしたことのある曲を楽しいトークを交えながら歌っていただき、会場は大いに盛り上がり寒さを忘れるほどの盛況となりました。

お昼を挟んだ午後からは、本館の食堂ホールや廊下に展示されたアートチーム（利用者さんのもう一つの活動班です）が丹精込めて制作した手芸作品をはじめ、書や生け花をゆっくりと見ていただきました。また、5番ユニットの茶道コーナー、6番の即売コーナー（法人内の事業所が作ったパン、豆腐、納豆など）も大変な人気を博し、利用者の皆さん、ご家族の方々から「来年もまたやってください」とのお声をちょうだいしました。

普段の活動を発表できる機会を持つことはとても大切であると同時に、その時を意識して日々の活動に取り組む毎日こそが尊いものであることを再認識でき、早くも来年の拓光園祭に向けてきちんと活動をしていきたいと心を新たに拓光園祭でした。

最後に、ご家族をはじめ多くの方々にご協力いただき、この場を借りて厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

（生活支援員 木村 悠）

雪灯籠制作

平成30年2月7日（水）、2月8日（木）の2日間に渡り、第42回弘前城雪灯籠まつりに向け、雪灯籠制作を行いました。

毎年恒例となっている活動に今年は、今井健太さん、奥崎真一郎さん、高田泰秀さんの3名が参加しました。

当日は、時折雪が降るあいにくの天候となりましたが、参加された利用者さんは、雪集めや固める作業を頑張りました。その結果、雪灯籠2基と雪だるま20体が見事に完成しました。

参加された利用者さんからは、「来年もまた作りたい」という声も聞かれました。来年も今年に負けないくらいの素晴らしい作品を作れるよう職員と利用者の皆さんで頑張りたいと思います。また、今後もさまざまな地域行事へ積極的に参加していきたいです。

最後に、雪灯籠制作に参加されたみなさん、本当にお疲れ様でした。（生活支援員 高田 直樹）



雪灯籠まつり見学



”トトロ”と一緒に♪

2月9日、雪灯籠まつり見学に出掛けました。

当日は天候にも恵まれ、駐車場のねぶた村から弘前公園までの道中では、利用者の皆さんからはわくわくした表情がみられていました。

会場へ入ると、知っているキャラクターの雪像に思わず足を止め目を奪われてしまう方や、大好きなキャラクターの名前を呼んで嬉しそうに近寄って行く方もいました。そして、それぞれ気に入った雪像の前で記念写真をパシャリ📷✨

その後はいよいよ、皆さんが楽しみにしていた屋台まで移動して思いおもいに屋台を巡りました。唐揚げ棒や大判焼きなど、屋台ならではの食べ物や、お酒が好きな方はビールを飲むなど、雪灯籠まつりを大いに満喫してきました。

（生活支援員 木村 聡章）

職員紹介



名前	タムラ マキコ
名前	田村 真希子
年齢	36歳
出身地	弘前市
出身校	弘前実業高校
趣味・特技	裁縫・書道
マイブーム	布ひもでモノ作り
今後の抱負	着なくなったTシャツを細く切ってヒモ状にして編んでカバンとか作っています。
	福祉の仕事は未経験なので、1日でも早く自分で動けるように皆さんからたくさん学びたいです。

よろしくお願いします！

みんなのクラブ活動

ドライブクラブ

平成29年12月6日、晴天に恵まれイオンモールつがる柏へ向かいました。

今回は昼食を食べてからのクラブとなりましたが、焼きそばやたこ焼き、お好み焼き、ポテトフライ、パンケーキ、ジュースなどをそれぞれが選び購入して楽しみました。各自思いおもいのものを食べることができ「あれもこれも食べたいな〜」「美味しかった〜」など聞かれ、とても満足そうな表情がみられていました。今年度最後のクラブ活動は34名の参加でしたが、次年度も様々な計画を立て、皆さんに楽しんでもらえるような活動をしていきたいと考えています。（生活支援員 瀧澤由香理）



アウトドアクラブ

12月21日に行われた「アウトドアクラブ」では、クリスマス目前ということもあり、ケーキ作りを行いました。当日は午後になると、参加される利用者さんが食堂ホールに集まり、早速ケーキ作りに取り掛かりました。”ブッシュドノエル”を模したロールケーキに皆さんが自由にトッピングを加えていき、イチゴを乗せて完成です。カラフルな装飾にハマる方も多く、一足早いクリスマスは、飾り付けるのも食べるのも楽しいイベントになりました。

（生活支援員 林 裕隆）



カラオケクラブ



平成30年2月7日、カラオケ合衆国に出掛けてきました。

今回は昼食を兼ねての外出であり、18名の参加がありました。お部屋に入ると、カラオケの前にまず腹ごしらえ。お腹を満たし歌う準備が整うと、待ちに待ったカラオケが始まります。

得意な曲を熱唱したり、リズムに合わせて踊ったり、マラカス、タンバリンを鳴らし、場を盛り上げる方もいました。

楽しい時間はあっという間のようで、歌い足りない利用者の方もいたようです。なかには、次回歌う曲を決めている方もおり、待ち遠しいようでした。（生活支援員 工藤 暁子）



クラブプレゼンテーション

平成29年12月には、食堂ホールにて「アウトドアクラブ」「カラオケクラブ」「ボウリングクラブ」「ドライブクラブ」のプレゼンテーションが行われました。

この4つのクラブから2つを選んで参加します。

皆さん真剣に悩まれています。



どのクラブにしようかな…

